



病院で処方された認知症の

アルツハイマー病に対しては、アセチルコリン伝達を改善する薬剤、塩酸ドネペジル(アリセプト)が使われます。

これは病気の進行を緩やかにするものであり、根本的な治療ではありません。

2011年春からは、アリセプトに加えて、3種類のアルツハイマー病治療薬が病院で処方できるようになりました。リバスチグミンとガランタミンはアリセプトと同様、アセチルコリン伝達を改善する薬剤ですが、リバスチグミンは貼付剤なので、吐き気や下痢などが少なく、ガランタミンは、アリセプトとは別の作用も持っており、アリセプトが効かない人にも有効とされます。一方、メマンチンはこれらとは作用が異なり、アリセプトとの併用も可能です。

認知症の治療薬の一覧表

商品名	アリセプト	レミニール	リバスタッチ イクセロン	メモリー
一般名	ドネペジル	ガランタミン	リバスチグミン	メマンチン
薬効	認知症の中核症状の進行を遅らせる			
	抑うつや無関心にも効果	神経伝達物質の分泌を促進	貼付薬のため、コンプライアンスがよい	興奮や攻撃性に効果
主な副作用	消化器症状(悪心、下痢)		皮膚症状	めまい、頭痛
適応	軽度～高度	軽度・中等度		中等度・高度
剤型	錠剤、OD錠、細粒、ゼリー錠	錠剤、OD錠、液剤	貼付薬	錠剤

*OD錠:水なしでも飲めるように、口の中で溶けるようになっている剤型

治療薬について教えてください。

ドネペジル(錠剤)



3mg 5mg 10mg

ドネペジル(OD錠)



3mg 5mg 10mg

ガランタミン(錠剤)



4mg 8mg 12mg

ガランタミン(OD錠)



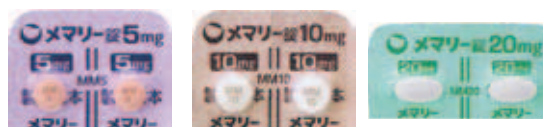
4mg 8mg 12mg

リバスチグミン(外用薬・パッチ剤)



4.5mg 9mg 13.5mg 18mg

メマンチン(錠剤)



5mg 10mg 20mg

*同じ治療薬でも有効成分の含有量によって、色や形が異なります。

